

日本臨床化学会企業シンポジウム 履歴

履歴

年度	回次	テーマ	座長	内容
2021	16	次世代臨床検査への企業の挑戦 ~企業が描く未来図~	(株)宮田総研 宮田満 河野 麻理 シスメックス株式会社	奥田 忠弘 アボットジャパン合同会社 診断薬・機器事業部 「検査医学の将来と診断支援」 坂元 琴子 栄研化学株式会社 マーケティング推進室 「新型コロナウイルスのLAMP法試薬の開発」 Lucy Lum Chai See Dept of Pediatrics, University of Malaya, Kuala Lumpur Professor 「顧みられない熱帯病、デング熱への取り組み」
2020	15	救急医療	(株)宮田総研 宮田満 中沢 隆史 株式会社日立ハイテク	(旭化成ゾールメディカル)「(AEDに関する商品紹介)」 今 明秀(八戸市立市民病院)「 小林誠人(公立豊岡病院但馬救命救急センター長・顧問)「チームで行う救急医療 ~多職種連携こそが命を救い上げる!~」
2019	14	現代人の病気に迫る最新技術	(株)宮田総研 宮田満 阿部 義彦 富士フイルム株式会社	村上 淳(アークレイ株式会社)HbA1c測定における性能向上に関する取り組み 吉川 元起(国立研究開発法人物質・材料研究機構)嗅覚センサの総合的研究開発 柳沢 正史(筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構)睡眠覚醒の謎に挑む
2018	13	リキッドバイオプシーが変えるがん治療	日経BP社 宮田満 小川和彦 アークレイマーケティング(株)	松崎潤太郎(国立がんセンター研究所)「ここまでわかる血中マイクロRNA診断」 沖田規幸(ロシュ・ダイアグノスティクス(株))「血漿検体を用いたcobas Mutation Test v2.0 の技術的特徴と今後の期待役割」 田中 賢(九州大学)「生体親和性合成高分子による血中循環がん細胞(CTC)の 分離回収技術」
2017	12	人口知能AIが変える未来の診療	日経BP社 宮田満 森篤雄 ニッポンジーン	大沢哲(フジフィルム)「医療分野でのAIの活用 画像診断システムの開発」 高野敦司(日本IBM)「医療分野におけるソリューション事例」 東條有伸(東京大学)「AIを用いた白血病診断技術」
2016	11	システム生物学が変える医療	日経BP社 宮田満 河野麻里 シスメックス	曾我朋義(慶応大学)「メタボロームが明らかにした癌攻略戦略」 中山敬一(九州大学)「次世代プロテオミクスが拓く医学生物学の新天地」 宮田満(日経BP社)「システム生物学が医療や健康をどう変えるか」
2015	10	診断と治療の未来を探る -先制診断 医療とバイオバンク-	日経BP社 宮田満 松尾 雄志 京都大学	福岡秀典(早稲田大学)「胎生期低栄養環境と生活習慣病」 田中弘一郎(藍野大学)「先制医療のターゲット疾患と医薬品開発の現状」 斉藤邦明(藤田保健衛生大学)「健常時からの暦年のバイオバンクの活用」 桜井雅史(京都大学)IT基盤の先制診断 宮田満(日経BP社)「国内外のバイオバンクの現状と課題」
2014	9	診断と治療の未来を探る -その鍵は臨床化学にあり-	日経BP社 宮田満 植田成 旭化成ファーマ	木村貴文(京都大学iPS研)「臨床化学の未来とiPS細胞」 糸川昌成(東京都医学総合研究所)「代謝疾患としての統合失調症研究」 西原達次(九州歯科大学)「新たな歯周病診断法の開発」 佐々木常雄(東京都駒込病院)「実臨床からみたがん化学療法における個別化医療」 日比野仁(中外製薬)「臨床研究を通じたバイオマーカーの深索と確立」

2013	8	頭上のリンゴを貫くには 「分子標的治療薬 基礎と臨床」	日経BP社 宮田満 (株)SRL 川野克己	木村晋也(佐賀大学)「分子標的薬を用いた治療の実際」 成宮周(京都大学)「産学連携による創薬」 曾我朋義(慶応大学)「メタボロミクスによるがんの代謝解析」 佐谷秀行(慶応大学)「がん幹細胞を標的とした治療戦略」 宮田満(日経BP社)「分子標的薬の開発トレンド」
2012	7	「健康との対話」～Population approach～	日経BP社 宮田満 (株)SRL 川野克己	1、抗加齢ドクターから見た高齢者における健康上の問題点と改善ポイント 2、ライフステージにおけるカテゴリーの健康への寄与 3、唾液に夜総合的な口腔検査法の開発多項目唾液検査システム 4、「健康をはかる」生活習慣病への取り組み 5、男性特有の皮膚老化現象とアンチエイジングスキンケア
2011	6	ニューテクノロジーは 臨床化学の新しい地平線を拓く	日経BP社 宮田満 (株)SRL 川野克己	藤原正明(株)カイム・バイオサイエンス「トリブ細胞を用いた新規抗体作成法」 伊藤俊幸(シーメンスヘルスケア)「新しいイムノアッセイLOC法」 芝崎大(財東京都医学総合研究所)「イムノPCRの臨床応用」 佐藤太(日本ウォーターズ)「最新の質量分析計を用いたプロテオーム解析」 WENTWORTH Noel(bioMerieux Australia Pty)「質量分析マトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析法」 西野憲和(九州工業大学)「フローアッセイ活性測定 of 医療診断への応用」
2010	5	オミックスから派生、 具現化したプロダクトの現状と将来展望	日経BP社 宮田満 協和メディックス 福永健一	西達也(株)ジナリス「ヒゲノム解析に役立つ次世代シーケンシング対応ゲノム解析クラウドサービス」 松浦正(株)ベルセウスプロテオミクス「オミックスから生まれた新しい炎症マーカー」 梶川益紀(株)ACTGen「シグナルシーケンストラップ法を用いたモノクローナル抗体シーズの深掘り」 大橋由明(ヒューマンメタボロームテクノロジー)「メタボロミクス技術に臨床診断マーカー開発」
2009	4	抗体医薬と検査薬の今、そしてこれから	日経BP社 宮田満 協和メディックス 福永健一	設楽研也(協和発酵キリン)「医療用抗体のADCC活性増強技術」 浅野寛道(シーメンスヘルスケア)「乳癌の分子標的マーカー 血清HER2neu」 小野健一郎(株)医薬生物化学研究所「人ロリンパ節を用いたモノクローナル抗体」 林順(大阪大学)「マウスによる短期高力価抗体作製の実用的意味」
2008	3	予防医療、新技術、そして検査への統合	NPO日本食品安全協会 松尾雄志	1、イメージング検査 2、IVD治験の現状と問題点
2007	2	ハイテク医療へのアプローチ 新技術のインパクト	(株)ヒタチハイテクノロジーズ 今井恭子	Le Sun(Welton Pharmaceuticals,Inc)「Drug-mAb Immunocjugates for Therapy」 渡慶次学(マイクロ化学技研)「μTASによる臨床診断」 浦田康生(オンコリスバイオファーマ)「テロメシキンの基礎と応用」 阿部正紀(東京工業大学)「医用磁性ナノビーズの作製と診断・治療への応用」
2006	1	臨床化学の将来： バイオベンチャー新技術のインパクト	オリエンタル酵母工業株式会社 松尾 雄志	中島俊洋(ジェノメディア)「先端医薬品デリバリーシステム」 安達宏昭(株)創晶「異分野連携から生まれた革新的な結晶化技術」 湯野川春信(株)メッセンジャースケープ「高感度遺伝子発現プロファイルHiCEP」 芝崎大(シセラテクノロジー)「高感度同時多項目アッセイ法 MUSTag Inside」 宮田満(日経BP社)「バイオベンチャー VS 臨床化学」